

「町民の暮らしを守り、誇りを持って、次の世代に受け継いでもらうための町づくり」を目指します!!



△水川一哉町長

先の統一地方選挙後、初の大町町議会定例会が開催され、水川一哉町長が所信を述べました。

今後4年間の目標や大町町の将来像、また町が抱える課題についての対策などを示しました。

今後4年間の目標

安心安全な暮らしについて

大町町は近年2度の大きな水害に見舞われました。被災された方々が心が折れ、苦しみながらも、負けずに奮起されている姿をしっかりと見させていただきました。だからこそ、「町民の皆様の安心安全な暮らしを守りたい」という強い思いがあります。この経験を生かし、治水対策や防災減災対策、そして防犯対策等も進め、大雨激甚化の一大因だとされる温暖化対策にも微力ながら貢献できればと思っています。

農業・商業・企業誘致など産業の振興について

町の基幹産業である農業、商業、企業の発展は大町町を活性化させるための源となります。さらに関係性を密にし、座談会や意見交換会などを通して、要望等を参考にしながら産業振興施策に反映させていきたいと考えています。

また、私たち大町町民が昔から親しみ活用してきた大町町のメインストリートである「国道34号」は大町町の資源

であり、賑わいを創出し、大町の魅力を県内外に発信するツールとして大きな役割を果たすと考えています。

賑わいを創出していくためにも、商店街形成の誘導、交流人口の増や集いの場所、大町町のランドマークとして、老朽化した公共施設の更新時には、候補地の選択肢としても考えていかなければならないと思っています。そういう視点からも「大町ふるさと館」や「大型スーパーセンター」、そのほか様々な飲食店、店舗なども国道34号の賑わい創出の一翼を担ってもらっていると思っています。

このようなことを踏まえ、国道沿いの活性化を進めながら、大町町の可能性・ポテンシャルを高めていきたいと考えています。

大町町の新たな魅力とブランドづくり

少子高齢化が進展する中で、定住移住政策や、子育て応援の町として、魅力ある子育て支援を進めて参ります。また、子どもたちの体力増進やスポーツを通して子どもたちに夢を与えるようなジュニア

アスポート振興を目的に、「(仮)ジュニアアスポート夢プロジェクト」を構想に掲げ、魅力ある学校づくりを目指します。

さらに、今ある大町の貴重な資源を磨き上げながら、新たな産品づくりやブランドづくりにも挑戦していきます。

以上のことを、今後4年間で目指す町づくりの目標とし、そのためにも、一つ一つの課題に向き合い、「今やらなければならないこと、今だからできること」を実行し、短期、中期、長期的に実現できるような粉骨砕身頑張りたいと思っています。

大町町の抱える課題

水害対策について

私は、これまで人命を守ることを最優先に「ソフト事業」を中心に整備を進めてきました。

避難に活用していただく「防災マップ」を全戸に配布し「防災ラジオ」を全世帯に配備しました。

また、令和元年8月豪雨を教訓に人命第一、「逃げ遅れ

ゼロ」を目指し「救命ポート」、「避難所整備」、「地域の絆づくり事業」によるお互いに助け合う自助共助意識の醸成等を進めて参りました。30を超えるNPOとの「災害支援協力協定」の締結もその一つです。

しかし近年、気候変動により激甚化する大雨に対応するためには、既存の「設備の増強」はもちろんですが、町単独ではなく、国・県、六角川流域の市町の連携が不可欠だと考えています。

大町町としましては、国・県の支援を受けながらも「出来ることはすべてやる」、そういう強い気持ちで、流域市町と連携し治水対策に取り組んで参ります。

人口問題について

全国的に、人口の減少が顕著になっていく中で、人口問題は喫緊の課題であります。

大町町では、基本的な方針として、3本の柱を掲げて参ります。

1つ目に、全国でもトップクラスの魅力ある子育て支援や、定住移住支援を中心に「魅力ある町づくり」を通して転